# ⑲ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

# ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-251900

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和63年(1988)10月19日

G 08 G 1/09

6821 - 5H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

②特 願 昭62-84756

②出 願 昭62(1987)4月8日

②発 明 者 栗 原 伸 夫 茨城県日立市久慈町4026番地 株式会社日立製作所日立研 空販内

⑫発 明 者 大 須 賀 稔 茨城県日立市久慈町4026番地 株式会社日立製作所日立研

究所内

⑫発 明 者 髙 橋 秀 治 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 株式会社日立製

作所内

<sup></sup> ②発 明 者 遠 藤 晃 茨城県勝田市大字高場2520番地 株式会社日立製作所佐和

工場内

⑪出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

內代 理 人 弁理士 小川 勝男 外2名

明 超 魯

発明の名称
自動車運転案内装置

- 2. 特許請求の範囲
  - 1. (a). 運転者により利用目的が入力される利用 目的入力手段;
    - (b).前記利用目的に関連した目的地の情報が記憶された関連情報記憶手段;
    - (c).前記利用目的入力手段から入力された特定 の利用目的に対応した目的地を前記関連情報 記憶手段から読み出す検索手段;
    - (d). 前記検索手段によつて検索された目的地と この目的地に至る道路地図を表示する表示手 段とよりなる自動車選転案内装置。
  - 2. 特許請求の範囲第1項において、前記関連情報記憶手段には目的地に関連した情報が記憶されており、この情報は外部情報によつて更新されるようにされている自動車運転案内装置。
  - 3. 特許請求の範囲第1項において、前記関連情報記憶手段には目的地に関連した情報が記憶さ

れており、この情報は自動車外からのサービス 情報によつて更新され、しかも目的地およびこ の目的地に関連した情報が前記検索手段から読 み出されて前記表示手段に同時に表示するよう にされている自動車運転案内装置。

3. 発明の詳細な説明

[ 遊業上の利用分野]

本発明は自動車運転案内装置に係り、特に運転者が目的地を直接に指示できない場合に目的地に 関する各種情報を提供して運転者が目的地を選択 できるようにした自動車運転案内装置に関する。 )(従来の技術)

#### (発明が解決しようとする問題点)

ところが、選転者が目的地の位置や名称を失念 したり、あるいは買物、観光、遊技など利用目的 を満足する場所すなわち目的地そのものが明確で ない場合には従来の自動車選転案内装置ではこの 要請に充分答えられないという不具合があつた。 (問題点を解決するための手段)

本発明は、利用目的から目的地を検索したり、また利用目的を満足することのの目的地を選択するための情報を提供まするための情報を提供まするための情報を提供ますると目的として利用目のを示す検索情報を記憶手段に記憶させ、選転者が利用目のを入力した時に目的地をデスプレイ上に表示するように構成したものである。

#### (作用)

選転者が要求している目的をどこへ行つたら満足できるか分からない時、本自動車選転案内装置が次の様に支援する。

で時々刻々の自車位置データを算出して中央処理 装置3へ伝送する。中央処理装置3は、自車位置 データを含む道路地図を地図情報記憶装置6から 説み出して表示装置8に表示する。ここで自車位 置は符号と彩色で明示する。 運転者は入力装置 7 のスイツチをONして中央処理装置3へ入力開始 を告げた後に利用目的を例えば音声で入力する。 中央処理装置3は、検索情報記憶装置4から該当 する利用目的に関連するすべての目的地とその位 置データを検索して表示装置8に表示中の道路地 図上に複数個所の目的地を番号で明示する。ドラ イバはこれら番号のうちいずれか一個所を進び、 入力装置でのスイッチをONして番号を音声入力 する。中央処理装置3は、この番号に応じた目的 地の表示を残し他の目的地候補につき表示を止め、 該当する目的地の関連情報を検索情報記憶装置5 から検索して表示装置8に表示する。

情報サービスセンタからの通信情報を利用できる場合には、第2図で示す検索情報受信装置2を 装備する。アンテナ1から入つた電波情報は低錐 まず、運転者は利用目的を入力して何をしたいのかその目的を入力する。自動車退転案内装置は入力された利用目的データを用いて検索情報が記憶された記憶手段から利用目的と目的地の関係をデスプータを検索し、該当する目的地をデスプレイ上に付加表示する。そして、運転者は表示された目的地機補の中から目的地を選択して入力するとデスプレイは目的地を表示する。

#### 〔 実 旋 例 〕

音アンプ21を介し復調装置22へ送られ、インタフエース装置23から中央処理装置3へ入力される。

そして、情報サービスセンタからは、ガソリンスタンドの油種と価格、商店の駐車場利用状況、商店の公告情報たとえば衣料品、食料品、日用品、賃金属、趣味、娯楽、スポーツ用品等の売出し状況あるいはまた映画館の上映内容など日々の買物情報が電波を利用してサービスされている。

第3回は中央処理装置3のソフトウエア構成を示す。オペレーテイングシステムは、電源割込 ESI及び入力装置スイツチからの外部割込EI に応じて、スポツト情報更新プログラム, 地図表示プログラム, 情報検索プログラムを起動する。

検索情報記憶装置4の記憶データとしては第3 図に示した質物情報データでありその具体的内容を第4図で示す。利用目的として銀行、デパート、マーケット、映画館、ガソリンスタンド、商品名(たとえばタバコ、洋食、和食、洋品、和服、クッ、…)等が記憶されている。これら利用目的毎

また、道路地図を表示するプログラムの処理手順は第6回に示すように、ステツブ200で方位センサ、走行距離センサによつて自車位置を読み取り、ステツブ210で自車位置付近の道路地図を地図情報記憶装置から読み出し、ステツブ220

#### (発明の効果)

本発明によれば、利用目的を満足するべき目的地を選択し、この選択された目的地までの径路を表示するようにしたので、より高度で便利な自動車運転案内装置を得ることができる。

### 4. 図面の簡単な説明

1 … アンテナ、2 … 検索情報受信装置、3 … 中央処理装置、4 … 検索情報記憶装置、5 … 自車位置 検出装置、6 … 地図情報記憶装置、7 … 入力装置、 8 … 表示装置。

代理人 弁理士 小川勝男

でデスプレイに表示する。

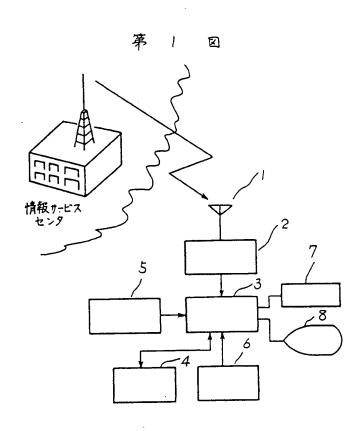
第7回は情報検索プログラムの処理手順を示し ており、これは外部割込によつて起動される。

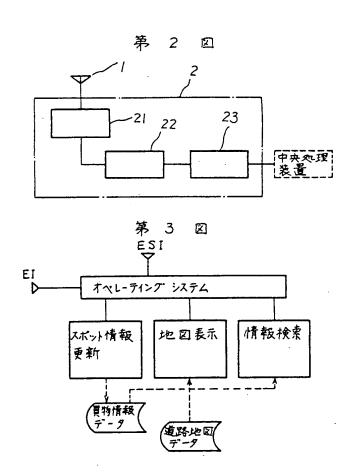
ステップ300において、運転者が利用目的を 入力、域えば"デパート"と入力すると、ステップ310で第4回に示すデータの中からデパート の情報を選択して記憶番号順に表示する。

次にステップ320でデパートの情報を更に選択してどのデパートに行くかを入力、例えば〇番として入力する。

デパートの選択がなされると次にステツブ330 で固定情報,スポツト情報などの情報表示を行い、 ステツブ340で目的とするデパートまでの道順 を彩色して、第8回に示すような道路情報を表示 する。

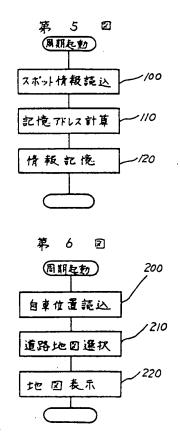
本実施例によれば、自動車で市街地へ買物に出かける時、地理に不慣れな選転者がどこへ買いに行つたら良いか自動車運転案内装置が教えてくれ、また地理に詳しい選転者でも目的地に関するスポット情報から最適な場所を選択することができる。

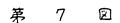


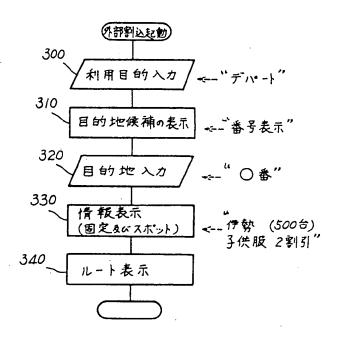


4	X
	4

			馬達馬		スポット情報	
和用目的	自的地	地図がは	以各台数	は国フドレス	」;欠	2次
銀行	陽蝕作	i		()		
	富 銀行	()		()		
	とき 相反	()		()		
テパート	伊勢。	(x1.Y1)	500	(X1, Y1)	3供版	2割引
	ع	(X2, Y2)	200	(X21. Y21)	夏物	大处分
. !	<i>9</i> 1	(X3. Y3)	300	(X31. Y31)	毛及コード	半額
マーケット	スミストア	()		( )		
•	マート	( )		( )		***
	交デーリ	()		()		
映画馆	王プラサ <sup>ー</sup>	()		( )	3猫物語	10/2075
	吹がて	( )	i	()		
	ス インネマ	( )		()		
かソリン スタンド	光	ر ١				
	±1					







## 第 8 図

